

## ふな・ウナギ稚魚放流



10月5日、栗山川漁業協同組合(石井文男組合長)が主催する稚魚の放流事業が行われました。この放流事業を通じ、日頃から川の水質向上を図りながら魚を増やす取り組みをしている石井組合長さんは、「魚がすみやすい環境をみんなでつくりましょう」と子どもたちに呼びかけました。当日は天候にも恵まれ、放流に参加した第一小の4年生39名も目を輝かせ、歓声を上げながらふな・ウナギの稚魚約60kgを放流しました。

## おいしい多古町をPR

10月8日、株式会社ねぎしフードサービスの社長をはじめとする社員の方々と、JA多古町と取引のある市場関係者らおよそ300名を招いて、JA多古町園芸部による収穫祭が二本松の野菜集出荷場で開催されました。

この日は残念ながら大雨の影響で収穫体験は中止となりましたが、豚汁や焼きそば、ねぎしからはとろろ飯と牛たん300食分が振る舞われました。お土産にはサツマイモと多古米が参加者全員に配られ、より生産者と販売者の関係が深まる一日となりました。



## どうやって食べる？ たくさんのサツマイモ



10月1日、NPO法人都市と農村交流会主催によるサツマイモ掘り体験が島地区の畑で行われ、抽選で選ばれた家族連れなど約150名が参加しました。今年は例年より台風が多く悪天候が続いたこともあり、小ぶりなサツマイモが目立ちました。この日も、雨がぱらつく天気でしたが、参加者たちは目の前の畑に夢中です。慣れた手つきで掘る人もいれば、初めての体験でどこまで掘ったらいいのか分からない人もいて、それぞれの芋掘りを楽しみました。掘り終わった後は、恒例の蒸かし芋などをいただき栄養補給して秋の味覚を存分に楽しみました。

## 農業施策等に関する意見書を提出



多古町農業委員会は10月24日、法律の規定に基づき、農地等の利用の最適化の推進に関する施策等の改善について「平成28年度多古町農業施策等に関する意見書」を菅澤町長に提出しました。意見書は、町の米づくりの持続的発展や農業の担い手への支援強化、TPP(環太平洋経済連携協定)交渉における日本農業の維持発展の確保など、町の農業者の要望が反映されるよう、農業委員の意見、要望等を取りまとめて作成されたものです。

## 雨にも負けず頑張った、 町民大運動会

雨が心配された10月8日、「リオに続け4地区で競う多古リンピック」をスローガンに、第58回町民大運動会が第一小のグラウンドで開催され、恒例の第一小鼓笛隊によるパレードが開会式を飾りました。午前中は雨が降ったりやんだりしてプログラムの内容を一部変更してなんとか競技が進んでいましたが、お昼を過ぎた頃から雨が強くなり残念ながら午後の競技は中止となってしまいました。雨に濡れながらも一生懸命走る参加者を見て、カメラを向けながらも応援せずにはいられない運動会となりました。

- 主な成績(優勝)
- 【総合】中地区
  - 【PTA】中村小
  - 【消防団】第4分団、第6分団
  - 【区長会】多古中央地区、中地区
  - 【小学校対抗リレー】<男子>中村小  
<女子>第一小
  - 【中学生地区対抗リレー】<男子>多古地区  
<女子>久賀地区
  - 【特別レース】多古町議会



## 最後まで頑張ったよ！

10月5日、こども園では子どもたちの元気なかけ声が響き渡り、「楽しい運動会になるように転んでも泣かないで最後まで頑張ります！」を目標に運動会が開催されました。この日のために一生懸命練習してきた3歳児から5歳児たち。元気いっぱい笑顔がえられる1日となりました。



## はじめての図書館まつり

4月に新たにオープンした多古町立図書館で、10月29、30日の2日間にわたり「図書館まつり」が開催されました。初めての試みとなったこのイベントでは、「本の無料配布」、「図書館クイズ」、「読み聞かせ会と工作」、「ビブリオトーク(本の情報交換会)」が行われました。ビブリオトークに参加した高橋知希さん(中2)は、「図書館に来たときにこのイベントのことを知り、参加してみようと思いました。参加してみて、いろいろな本を知ることができて良かったです。自分の紹介した本がみんなに知ってもらえたらうれしいです」と話してくれました。

これからも「本」と触れ合うこのような機会が増えていくといいですね。

